

しいの実

第22号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもち、たくましく生きる鈴西っ子の育成」

■ 児童及び保護者アンケートの結果について

12月2日（月）から9日（月）の期間で、児童及び保護者アンケートを実施しました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。結果の集計ができましたので、お知らせします。

＃1 児童アンケート

子どものアンケート		令和6年度 1学期						令和6年度 2学期				
		全体に占める割合				A+B		全体に占める割合				A+B
		A	B	C	D			A	B	C	D	
1	学校にいくのが楽しい。	54.5%	27.3%	9.1%	9.1%	81.8%		53.2%	28.6%	12.3%	5.8%	81.8%
2	学校の授業はわかる。	54.5%	37.7%	6.5%	1.3%	92.2%	↗	63.0%	30.5%	2.6%	3.9%	93.5%
3	授業で、自分で考えることが楽しい。	47.4%	33.8%	13.0%	5.8%	81.2%	↗	51.3%	31.2%	11.0%	6.5%	82.5%
4	授業中、自分の意見や考えを伝えている。	35.1%	35.7%	16.2%	13.0%	70.8%	○	50.0%	30.5%	13.6%	5.8%	80.5%
5	授業中、先生の話や友だちの意見を聞いている。	70.8%	24.7%	2.6%	1.9%	95.5%	↗	75.3%	20.8%	1.9%	1.9%	96.1%
6	むずかしい問題でも、あきらめないうで考えようとしている。	57.1%	32.5%	7.8%	2.6%	89.6%	↗	68.8%	22.1%	6.5%	2.6%	90.9%
7	友だちと考えを伝え合いながら勉強している。	66.2%	20.8%	7.1%	5.8%	87.0%	○	63.0%	29.2%	5.2%	2.6%	92.2%
8	本を読むことが好きである。	56.5%	22.7%	5.2%	15.6%	79.2%	▼	53.9%	22.1%	11.7%	12.3%	76.0%
9	クロムブックを授業や宿題など、学習で使っている。	70.6%	19.6%	7.2%	2.6%	90.2%	▼	70.8%	14.9%	12.3%	1.9%	85.7%
10	自分や友だちの思いや考えを伝え合うためにクロムブックを使っている。	62.7%	19.0%	9.8%	8.5%	81.7%	○	70.8%	18.2%	6.5%	4.5%	89.0%
11	宿題をきちんとするようにしている。	79.2%	16.2%	1.9%	2.6%	95.5%	↗	77.3%	20.1%	1.3%	1.3%	97.4%
12	家で予習や復習をしている。	37.7%	22.1%	15.6%	24.7%	59.7%	○	34.4%	32.5%	14.3%	18.8%	66.9%
13	学用品を忘れないようにしている。	74.0%	21.4%	3.2%	1.3%	95.5%	↘	74.0%	20.8%	3.9%	1.3%	94.8%
14	困ったことがあれば、学校の先生に相談できる。	57.8%	24.7%	9.1%	8.4%	82.5%	↗	62.3%	23.4%	9.7%	4.5%	85.7%
15	クラスのなかま楽しくすごすことができている。	54.5%	32.5%	7.1%	5.8%	87.0%	○	75.3%	18.8%	3.2%	2.6%	94.2%
16	私は、得意なことやよいところがある。	73.4%	18.2%	4.5%	3.9%	91.6%	○	68.2%	27.9%	3.2%	0.6%	96.1%
17	友だちや先生、近所の人にあいさつをしている。	77.9%	18.2%	2.6%	1.3%	96.1%		72.7%	23.4%	2.6%	1.3%	96.1%
18	交通ルールや学校の決まりを守っている。	74.0%	24.0%	1.9%	—	98.1%	↘	76.0%	20.8%	2.6%	0.6%	96.8%
19	困ったことがあれば、家の人に相談する。	78.6%	12.3%	4.5%	4.5%	90.9%	↗	72.7%	22.1%	3.9%	1.3%	94.8%
20	学校のできごとについて、家の人とよく話をする。	67.5%	21.4%	3.9%	7.1%	89.0%	▼	58.4%	27.3%	7.1%	7.1%	85.7%
		※ ○は4%以上上がっている場合、 ▼は3%以上下がっている場合についている。										

児童アンケートについては、1学期にも実施しました。左の図は、1学期から2学期にかけての変化について比較するための一覧表です。

項目4、5、12の結果から、学習意欲が、項目7、15、16から友だちとの関係性や自己肯定感が向上していることがわかります。

一方、項目13、17の結果から、規範意識が、項目20から家庭における子どもたちのコミュニケーションについて課題が見られることがわかります。

また、現状維持ではあるものの項目1について、項目2～6が向上傾向にあるにもかかわらず上昇しないところも気になります。アンケートの数値のみにとらわれず、実際の学校での子どもたちの行動や表情、発言等について注視し、今後必要な取組を継続していく必要があると考えます。

#2 保護者アンケート

2

保護者アンケート

今年度

R5年度

	内 容	A	B	C	D	E (分からない)	肯定的	順位		肯定的	順位
1	お子さんは、学校へ楽しく通っている。	58.2%	36.3%	3.4%	0.7%	1.4%	95.8%	2		93.8%	6
2	お子さんは、学習内容を理解している。	34.9%	52.7%	8.2%	1.4%	2.7%	90.1%	8		90.4%	10
3	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。	50.7%	37.0%	8.9%	3.4%	0.0%	87.7%	10		93.2%	7
4	お子さんは、学校や家で本を読んでいる。	32.2%	41.1%	17.8%	8.9%	0.0%	73.3%	14	〇〇	50.3%	14
5	お子さんは、クロムブックを使った学習に楽しく取り組んでいる。	44.5%	35.6%	11.6%	3.4%	4.8%	84.2%	12	R6 新規の質問のためデータなし		
6	お子さんは、家庭学習をする習慣がついてきた。	30.8%	39.7%	21.9%	6.2%	1.4%	71.5%	6		93.9%	5
7	お子さんは、友だちとよい関係を保っている。	42.5%	39.0%	6.8%	8.2%	3.4%	84.4%	11		95.0%	3
8	お子さんは、自分のことに自信を持っている。	29.5%	44.5%	15.8%	2.1%	8.2%	80.6%	13	〇〇	76.2%	13
9	お子さんは、あいさつをしている。	44.5%	39.0%	8.9%	2.7%	4.8%	87.8%	9		94.3%	4
10	学校は、わかる授業、考える授業に取り組んでいる。	39.7%	45.9%	3.4%	0.7%	10.3%	95.4%	3		92.5%	8
11	学校は、子どもに豊かな人間性をはぐくんでいる。	44.5%	37.7%	4.1%	0.7%	13.0%	94.5%	4		92.4%	9
12	学校は、子どもが自分のことに自信が持てるよう指導している。	41.8%	34.9%	5.5%	0.0%	17.8%	93.3%	7	〇〇	87.3%	12
13	学校は、子どもの状況について家庭と適切に連絡をとっている。	51.4%	38.4%	6.2%	0.0%	4.1%	93.6%	5	〇〇	88.4%	11
14	学校は、子どもを見る機会（授業参観、保護者会、行事など）を	58.9%	30.1%	5.5%	0.7%	4.8%	93.5%	6		97.2%	2
15	学校は、通信等で家庭への情報提供を積極的に行っている。	63.0%	30.8%	2.1%	0.0%	4.1%	97.9%	1		97.3%	1

項目 1、8、12 の結果から、子どもたちの自己肯定感について「向上している。」と感じている方が多いことがわかるとともに、児童アンケートの結果とも一致しています。

学習理解に関連する項目では、10 では上昇傾向にあるものの2が下降傾向なので、子どもたちが感じている感覚とは少し違っていることがわかります。

項目 3、6、9 の結果から、子どもたちの規範意識について各家庭でも気にしていただいていることが窺えるとともに、児童アンケートとも一致してしまっています。

#3 アンケート結果から

(1)自己肯定感は上昇傾向にある。

子どもたちの自己肯定感については、上昇傾向にあることがわかりました。学校で行っている、主体的協働的に学習する教科の授業や人権教育、縦割り班によるサーチ学習の取組等の効果と考えられるので、今後も取組を継続するとともに上昇傾向が維持できるよう、工夫改善を重ねていきます。

(2)学習理解は概ねできているが今後も注視していく必要がある。

学習理解については、子どもたちと保護者の方の感覚に若干のずれがあることがわかりました。幸い授業の取組には評価をいただいているので、授業改善の取組を継続するとともに、授業におけるまとめや振り返りの活動等、子どもたちの理解度が正しく把握できる方法について改善を図ります。

(3)規範意識に課題がある。

最近の子どもたちの様子を見ると、「あいさつ」について、できる子とそうでない子の差がはっきりしてきたように感じます。また、宿題や学校生活のきまりについても「宿題をすることの必要性」や「決まりを守ることが生活の安全や安心につながる。」ことについて、理解が進んでいない印象があります。学校では各学年や児童会の活動等をおして、規範意識を高める取組を今後も継続していきます。

今後も読書や家庭学習習慣チェックシート等、学校と家庭・地域が連携しながら、鈴西小の子どもたちが良い方向に成長していく取組を工夫継続していきますので、今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願いします。